

令和2年度（「平成30年台風24号 大淀川の洪水被害軽減に向けた取り組み」を踏まえた）平成30年度内水氾濫を受けた今後の取組 進捗状況表（国管理）各機関： 2021年3月時点

主な取組項目	目標時期	大淀川上流		大淀川下流				三協議会	
		都城市	高崎市	国富町	綾町	宮崎県	宮崎地方気象台	宮崎河川国道事務所	
<b>1. ハード対策</b>									
<b>A: 内水被害の軽減対策</b>									
(河川水位低下を図る対策として) 河川整備計画に基づく河道掘削	継続実施	-	-	-	-	-	-	-	継続 ・防災、減災、国土強靱化基金対策(大淀川上流、下流、小丸川)
<b>B: 監視体制の強化</b>									
監視モニターの設置及び水位計の設置	継続実施	-	-	-	-	継続	-	-	国志野川において、危機管理型水位計を設置済み。本年度までに産業型監視カメラを設置予定
内水情報の提供、監視体制の確保	継続実施	「過去洪水情報」をHP上で公開。併せて「過去の1週間」の監視対象箇所	「内水水位監視システム」に基づき、各組合支部・地域センターと監視員が連携し、内水位等の情報収集を行っている。	住民やボランティアから情報提供を受けている。	主に消防団員からの情報提供を受けている。	-	-	-	-
<b>C: 大型ゴミ対策</b>									
大型ゴミスクリーン設置(瓜生野川、江川)	平成32年度(令和2年度)	-	-	-	-	-	-	-	継続 ・国志野川(181.5)設置完了。江川設計中
<b>2. ソフト対策</b>									
<b>A: 施設操作の徹底</b>									
河川管理施設の操作の徹底のための取組	継続実施	職員向け研修を実施	国・県・市で操作講習会、操作合同訓練を実施。	施設操作研修会に参加している。	県主催の操作研修会に参加している。	県主催の河川施設操作研修会に、毎年参加している。	-	-	操作人操作説明会(出水期前3月実施)
アラームメールで通知するシステムの活用	平成31年度(令和1年度)	-	-	-	-	-	-	-	継続 アラームメール通知システム作成・運用中
<b>B: 施設操作情報の提供</b>									
バトロイト設置	平成32年度以降(令和2年度以降)	-	-	-	-	新規	-	-	継続 瓜生野川、江川、武田川にて設計中
情報提供方法の改善	継続実施	施設HP欄に15分、監視15分	洪水情報の発表次第の透明化を図るため、操作立会人設置	継続	継続	継続	継続	-	継続 本川河川水位、設備情報提供
<b>C: 地域防災力の向上</b>									
防災訓練等の充実を図るための支援を実施	継続実施	継続	継続 地域主催の自治体連立などで、風水害に関する訓練支援活動を実施し、チラシ配布や防災グッズ配布等を行う。各書所での出前防災訓練にて、防災訓練の支援を実施。	継続	継続 地域の防災訓練の支援を行っている。	継続 地域と連携した防災訓練を実施	継続 市町村から要請がある場合は、支援を実施している。	継続 水ビジョン防災実践者会議、内水対策チーム、浸水エリア関係者(18,30)	継続
住民の水防災意識の向上(出前講座、防災学習、シンポジウム等)	継続実施	継続 自治体や地区住民に防災講座を実施。	継続 風水害時の避難行動や自衛の備えなどについての出前講座を実施し、チラシ配布や防災グッズ配布等を行う。水防災意識の向上を図った。水防災意識の向上を図った。水防災意識の向上を図った。水防災意識の向上を図った。	継続	継続 防災セミナー令和2年7月22日開催した。	継続 出前講座を実施	継続 地元防災訓練に参加し防災意識の啓発を実施している。	継続 要請がある場合、防災講座等を開催している。	継続 浸水対策チーム、浸水エリア関係者(18,30)
ため池管理者への協力体制の確保	継続実施	継続 大雨が予想される際にはため池水位の観測の確保	継続 ため池管理者へ各書所における事前連絡を実施。台風等で出水が予想される場合、事前にため池管理者に連絡し、水位の観測等生体監視を行っている。	継続	継続 前担当職員監理より情報提供	継続 ため池マップの作成を行った。	-	-	-
<b>3. 維持管理</b>									
<b>A: 河川内巡視・点検の徹底</b>									
河道内の土砂撤去・樹木の伐採等	継続実施	継続 当書の管理河川については、季節毎に巡回し、その地域については、河川管理者へ情報提供。	継続 高崎市が管理する本所河川の土砂堆積状況を把握しながら、河川管理を実施。出前講座、瓜生野川、江川、武田川、浸水エリア関係者(18,30)	継続 河川管理者で実施	継続 河川巡視により点検実施	継続 瓜生野川の樹木伐採・河川管理を実施	継続 対象外	継続 ・平常時河川巡視と毎月維持管理委員会 ・防災、減災、国土強靱化基金対策(大淀川上流、下流、小丸川)	継続
<b>B: 施設管理の徹底</b>									
不法係留対策の強化	継続実施	-	-	-	-	継続	-	-	継続 ・平常時河川巡視と毎月維持管理委員会
<b>4. 災害後の支援体制</b>									
<b>A: 災害後の生活支援の早期</b>									
生活再建等の支援策について対応方法の再確認	継続実施	継続 災害対策行動マニュアルの見直しによる再確認	継続 災害ごみ処理・消毒・浸水被害情報収集等において、設計書・マニュアル等に記入・確認されている。	継続	継続 関係者と協力して、ごみ・消毒・被災証明の発行などの生活支援対策を実施する。	-	-	-	-
<b>5. 広報管理</b>									
<b>A: 早期避難の促進・啓発</b>									
過去浸水エリア等を活用した早期避難の促進・啓発(出前講座、防災学習等)	継続実施	継続 高崎市管理河川120の公表を受けて、住民への周知、啓発を実施。出前講座の実施。	継続 過去に浸水した地域などで出前講座の実施があれば、出前講座を実施している。各書所において、出前防災訓練等に併せて啓発活動を実施。	継続 毎年6月や広報で啓発	継続 ハザードマップの配布(180)	継続 地元自治体の防災訓練に参加し防災意識の啓発を実施している	継続 要請がある場合、防災講座等を開催している。	継続 ・過去災害・防災講座・内水対策チームなど関係者(18,30)等 ・毎月少川防犯情報等一冊入手手帳 ・市町村・河川とリンクした事業啓発	継続
<b>B: 情報発信・共有</b>									
関係機関で共有するための仕組み(タイムラインの活用、マスコミとの勉強会、地域防災コラボチャンネル等)の強化	継続実施	継続 リネン湖道による情報共有	継続 高崎河川国道事務所主催の合同訓練担当書作成に併せて、各関係機関と情報共有を行った。	継続 国・県とのタイムライン活用	継続 国・県とのタイムライン活用	継続 ホトラインの実施	継続 水防関係合同訓練に参加し、関係機関と情報共有を行った。	継続 ・マスコミ意見交換会(宮崎河川) ・メカボ管理情報協定・書庫等関係団体と情報共有を行った。	継続 ・防災情報共有システムについて、丹内情報の共有を実施。 なお、各書所における取組みとして、支所において、災害時における住民からの情報提供の確保や、支所の統一情報共有システムへの情報提供を行い、支所での情報共有を図った。また、消防団内においても、119からのメカボマップ訓練にプラスにて実施。
災害時の情報発信・共有方法について再確認	継続実施	継続 防災行政無線での連絡	継続 高崎河川国道事務所主催の合同訓練担当書作成に併せて、各関係機関と情報共有を行った。	継続 国・県とのタイムライン活用	継続 国・県とのタイムライン活用	継続 ホトラインの実施	継続 水防関係合同訓練に参加し、関係機関と情報共有を行った。	継続 ・過去災害・防災講座・内水対策チームなど関係者(18,30)等 ・毎月少川防犯情報等一冊入手手帳 ・市町村・河川とリンクした事業啓発	継続 ・マスコミ意見交換会(宮崎河川) ・メカボ管理情報協定・書庫等関係団体と情報共有を行った。

令和2年度（「平成30年台風24号 大淀川の内水被害軽減に向けた取り組み」を踏まえた）平成30年度内水氾濫を受けた今後の取組 進捗状況表 2021年3月時点

主な取組項目	自費 時期	大淀川流域河川管理区間										二階議会		
		宮崎市	都城(再掲)	小林市	三股町	高原町	国富町(再掲)	綾町(再掲)	曾於市	鹿児島県	宮崎県(再掲)	宮崎地方気象台 (再掲)		
<b>1. ハード対策</b>														
<b>A: 内水被害の軽減対策</b>														
(河川水位低下を図る対策として) 河川整備計画に基づく河道掘削		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>B: 監視体制の強化</b>														
監視モニターの設置及び水位計の設置		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続	—	
内水情報の提供、監視体制の確保		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	対象外	対象外	—	—	—	
<b>C: 大規模対策</b>														
大型ゴミ用スクリーン設置(瓜生野川、江川)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
<b>2. ソフト対策</b>														
<b>A: 施設操作の徹底</b>														
河川管理施設の操作の徹底のための取組		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	対象外	対象外	継続	—	—	
アラームメールで通知するシステムの活用		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
<b>B: 施設操作情報の提供</b>														
パトライト設置		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	新規	—	
情報提供方法の改善		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	対象外	対象外	継続	—	—	
<b>C: 施設防災力の向上</b>														
防災訓練等の充実を図るための支援を実施		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	—	
住民の水防災意識の向上(出前講座、防災学習、シンポジウム等)		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
ため池管理者への協力体制の確保		継続	継続	対象外	継続	対象外	継続	新規	対象外	対象外	—	—	—	
<b>3. 維持管理</b>														
<b>A: 河川内河床・点検の徹底、堆積土砂除去・樹木の伐採等</b>														
河川内河床・点検の徹底、堆積土砂除去・樹木の伐採等		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	継続	継続	対象外	継続	対象外	
<b>B: 施設管理の確保</b>														
不法係留船対策の強化		—	—	—	—	—	—	—	—	—	対象外	継続	—	
<b>4. 災害後の対応体制</b>														
<b>A: 災害後の生活再建等の早期回復</b>														
生活再建等の支援策について対応方法の再確認		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	継続	対象外	—	—	—	
<b>5. 広報啓発</b>														
<b>A: 早期避難の促進・啓発</b>														
過去浸水エリア等を活用した早期避難の促進・啓発(出前講座、防災学習等)		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	対象外	対象外	継続	継続	—	
<b>B: 情報発信・共有</b>														
関係機関で共有するための仕組み(タイムラインの活用、マスコミとの勉強会、地域防災コラボチャンネル)の強化		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
災害時の情報発信・共有方法について再確認		継続	継続	継続	継続	対象外	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	